

**奈良女子大学入学者選抜**  
**総合型選抜 探究力入試「Q」**  
**作品概要書の趣旨と作成方法**  
**【生活環境学部 文化情報学科 生活情報通信科学コース】**

1. この作品概要書は、第2次選考でのプレゼンテーション（詳細は下記 2. 参照）で説明を行う予定の作品に関する概要ならびにアピールポイントを記述して出願時に提出してもらうものです。
2. 第1次選考に合格した場合、第2次選考では、＜作品に関するプレゼンテーション＞をしていただきます。これは、受験者各自が当日持参したプロジェクト映像または配布資料に基づき、自ら作製した計算機関連の作品に関するプレゼンテーションおよび質疑応答であり、それによって、技術力・発想力・情報収集能力・開発能力・説明能力等を測り評価します。作品は何らかの意味で計算機に関連したものとします。ただし、プログラムであるかハードウェアであるかデジタルコンテンツ（例えば、ウェブページの記述、CG、画像、3Dモデリング、計算機で高度に画像編集された動画等）であるかは問いません。デジタルコンテンツの場合であっても、技術的先進性が高いと判断したものをより高く評価します。デジタルコンテンツの芸術性を評価することもあります。
3. 作品概要書は自由フォーマット（様式）です。ただし、以下の注意に従って作成して下さい。
4. A4用紙2枚（片面、2ページ）以内で作成して下さい。
5. 提出する用紙すべてに受験者の氏名を判り易く明記して下さい。
6. 提出する用紙すべての上部に「作品概要書」の表記をお願いします。
7. 2枚提出する場合は、用紙下部にページ番号の表記をお願いします。
8. 表記手段や表記方法は問いません。手書きでも構いませんし、プリンタによるプリントアウトでも構いません。カラーでも白黒でも構いません。
9. 写真や図表をA4用紙に貼っていただいても構いません。ただし、用紙をはみ出したり、拡張するような貼り方は許容しません。
10. 写真や図表を用いることにより、作品をより判り易く説明できると思う場合には、積極的に写真や図表を使用されることを推奨いたします。
11. 作品の内容（作成目的、動作、完成度、今後の改良予定等）が伝わるように記述して下さい。
12. 製作者が自分の作品において、技術的な先進性、新奇性、芸術性があると考えている部分がある場合は、それらを概要書内に記述して下さい。

13. 作品がプログラムの場合は、使用言語名やソースコードの行数といった情報は歓迎しますが、概要書にソースの抜粋は不要です。ただし、プログラム技法上の工夫があると製作者が思う場合はこの限りではありません。
14. その他、作品に関してアピールしたいことを自由に書いて下さい。
15. 使用する文字の大きさ（最低サイズ）は指定しませんが、年配の審査員も概要書に目を通すことを考慮していただけるとありがたいです。
16. インターネットで作品（一部でも可）を公開している場合は、URL を記述しておいて下さい。
17. 作品が他人の作品の改良品である場合や、作品が他人の作品を一部流用したものである場合には、参照した作品を明示して下さい。
18. 複数の人間が作品の製作に関わっている場合は、受験者の担当部分を明記して下さい。